

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日（金）5校時

場 所 1年教室

児 童 男子0名 女子2名 計2名

指導者 吉田佳子

1 単元名 はっきり はなそう

「みんなに しらせたいこと」 （光村図書 上）

2 単元設定の理由

(1) 児童について

1年生はこれまでに、「たんけんしたよ、みつけたよ」では、探検して知らせたいことをはっきり分かるように話すこと、「すきなもの、おしえて」では、友達に尋ねたいことや尋ねられたことに対する答えを基本文型に沿って敬体で話したり、友達の話の大事なことを落とさずに聞くこと、「ほんとなかよし」では、自分が選んだ本について簡単に紹介したり、話す人を見て静かに話を聞くことを学習してきた。

1年生は、入学当初から言葉の習得に差があるが、二人とも声を出して読んだり発表したりすることが大好きである。6月から帰りの会で、「すきなもの、おしえて」で学習した基本文型を基にしながら、1日の出来事で心に残ったことを話している。「心に残ったこと」の内容として、楽しかったことだけではなく悔しかったこと、うれしかったことなど、自分で話題を見つけて話せるようになっているが、最初に話した児童と同じ内容で話す場合もあり、話題の見つけ方については本単元で力をつけていきたい。

(2) 単元について

学習指導要領における第1学年及び第2学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。」である。

本教材の学習は、休み中の生活を話題にして友達に話すという場を設け、互いの理解を深めることを意図したものである。何を話すか、どのように話すかということを考えながら話題を選び、話し方を考えることを目標としている。1番伝えたいこと、すなわち大事な事は何かを考えさせ、話の順序を整えて分かりやすい話ができるようにさせたい。また、友達の話を聞いた後で、知りたいことを尋ねられるようにしっかり話を聞くことも意識させたい。

(3) 指導にあたって

本教材では、特別な事柄を話題にするのではなく、誰でも経験したような事柄をどのように話したら友達が分かってくれるかを考えさせていく。休み中の事柄だけに絞らず、夏休みからの出来事で友達に知らせたいことを幾つかあげさせ話題を選ばせたい。選んだ事柄をカードに書かせる活動では、相手意識を持たせるために、内容を読み返し、相手に分かるかどうか考えさせるようにする。また、順序意識を持たせるために、「初め・中・終わり」のカードを色別にして、児童自身が順序や構成の意識を持ちやすくさせる。発表する際、手に写真や絵、実物を持って話をすると聞き手に分かりやすいことを理解させたい。今まで、話し手に対して質問をする活動はあまり行なっていなかったため、「発表→質問→答え」という経験をさせて質問の楽しさを味わえるようにさせたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

◎知らせたいことを友達に分かるように、話の順序を考えながら話そうとする。

(2) 話す・聞く能力

◎みんなに知らせたいことを選び、話の順序を考えながら友達に分かるように話すことができる。
(ア)

◎話の大事なことを落とさないように興味を持って聞くことができる。(イ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

◎はっきりした発音で、丁寧な言葉を使って話すことができる。(ア (ア)・オ (ア))

4 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

・夏休みからの出来事を友達に知らせることに意欲を持って取り組もうとしている。

(2) 話す・聞く能力

・知らせたいことを選び、「初め・中・終わり」の順序を考え、友達に分かるように話している。

・話す人を見て終わりまで静かに聞き、話に合った質問をしている。

(3) 言語についての知識・理解・技能

・はっきり、「です・ます」調で話している。

5 指導計画 (全4時間 ○印一本時)

次	時	学 習 活 動	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
第1次	1	○「お話会」について知り、教科書の例文などで「お話会」を試してみる。	・発表する役や質問する役を、楽しみながら取り組もうとしている。	・例文を使って、発表したり質問したりしている。	・敬体表現で話している。
第2次	2	○思い出したことを幾つか「思い出カード」に書き、その中から「お話会」で知らせたいことを1つ選び、必要な写真や物を準備したり、絵をかいたりする。	・思い出した出来事の中から話したいことを1つ決めようとしている。	・話したいことをよく思い出し、「思い出カード」に書いている。	・平仮名を正しく使って書いている。
	③	○選んだ出来事について、順序を考えてカードに文を書き、書いた文を基に発表練習をする。	・順序を考えてカードに文を書こうとしている。 ・聞く人が分かるように発表の練習をしようとしている。	・知らせたいことの「初め・中・終わり」の順序を考えて発表練習をしている。	・敬体表現で話している。
第3次	4	○「お話会」を開き、絵や写真、実物を持って発表したり、発表を聞いて質問をしたりする。	・発表会を楽しみながら、発表したり話を聞いたりしている。	・友達に分かるように、話の順序を考えて発表している。 ・友達の話をよく考えて聞き、話に合った質問をしている。	・はっきり分かるように話している。 ・敬体表現で話している。

6 本時の学習

(1) 本時の目標

○選んだ出来事について、友達に分かるように話の順序を考えて話すことができる。

(2) 具体の評価規準

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援 (C)
自分の力で「初め・中・終わり」の順序を考えて文を書き、文を基にしながら話すことができている。	「初め・中・終わり」の順序を考えて書いた文を基に話をしている。	例文をもとに、「初め・中・終わり」の内容を考えさせる。

(3) 仮説にかかわって

仮説2にかかわって、発表練習の学び合いの場面では、友達の発表の大事なことを落とさずに聞き取り、お互いのよさを認め合えるようにするために、相互評価をさせていく。

(4) 展開

段階	学 習 活 動	○指導上の留意点 (評価) ●支援
課題把握 3分	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>○前時に選んだ出来事を確認する。</p> <p>○学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ともだちに知らせたいことを、わかりやすくはなすれんしゅうをしよう。 </div>	<p>○いくつか考えた思い出の中で、1番話したいことであることを押さえさせる。</p> <p>○友達に分かるように話すことを確認させる。</p>
課題追求	<p>2 発表カードを書く。</p> <p>○カードの書き方を理解する。</p> <p style="padding-left: 20px;">「初め(水色)」・・・わたしは いつ どこで (だれと) なにをした</p> <p style="padding-left: 20px;">「中(黄色)」・・・(くわしく) どうした</p> <p style="padding-left: 20px;">「終わり(ピンク)」・・・どうだった どうおもった</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○順序を意識しながら、発表カードに文を書く。 【一人学び】 </div> <p>3 書いた文を基に、発表練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○カードを見ながら、発表練習をする。 【一人学び】 </div>	<p>○順序よく話すことで、分かりやすい話になることを理解させる。</p> <p>○教師の作った文を色別の用紙に書いたものを見せ、難しいことではないことに気づかせ、意欲を持たせる。</p> <p>●例文を基に、「初め・中・終わり」の内容を考えさせる。</p> <p>(関)順序を考えて、カードに文を書こうとしている。</p> <p>○モデルを示し、よい話し方を確認させる。</p> <p>○付け足しや直したいところがあったら書くようにさせる。</p>

35分	<p>4 発表を聞き合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○友達の発表を聞いて、相互評価をする。</p> <p>・分かるように話せたか、よい話し方ができていたかをカードにチェックする。</p> <p>【学び合い】</p> </div>	<p>(話)書いた文を基に、はっきり話している。</p> <p>○よい聞き方を確認させる。</p> <p>(聞)友達の話をよく聞いて、評価をしている。</p> <p>○発表をテープに録音し、まとめの自己評価のときに使わせる。</p>
まとめ 7分	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○今日の学習を振り返り、自己評価をする。</p> <p>6 次時の学習内容の確認をする。</p> <p>○「お話会」を行なうことを予告する。</p>	<p>○録音テープを聞きながら、自己評価カードに丸をつけさせる。</p> <p>○「お話会」は、「音読集会」のリハーサルになることを伝え、意欲を持たせる。</p>

7 板書計画

はつきりはなす
ききやすいはやさではなす

○よいはなしかた

おわり

○じゅんじょよく

わかるはなしかた

はなしている人をみてきく
さいごまできく
だいじなことをおとさずにきく

どうだった
どうおもった

なか

はじめ

みんなに しらせたい こと

はじめで、ひとりできんぎ
よをすくえたのでうれしかつ
たです。また、おまつりにい
って、きんぎよすくいをした
いです。

（くわしく）どうした

わたしは いつ どこで
（だれと）なにをした

わたしは、にちようびに、
かぞくとぬまくないのおまつ
りにいきました。

（め）ともだちに しらせたいことを、
はなす れんしゅうを しよう。
わかりやすく